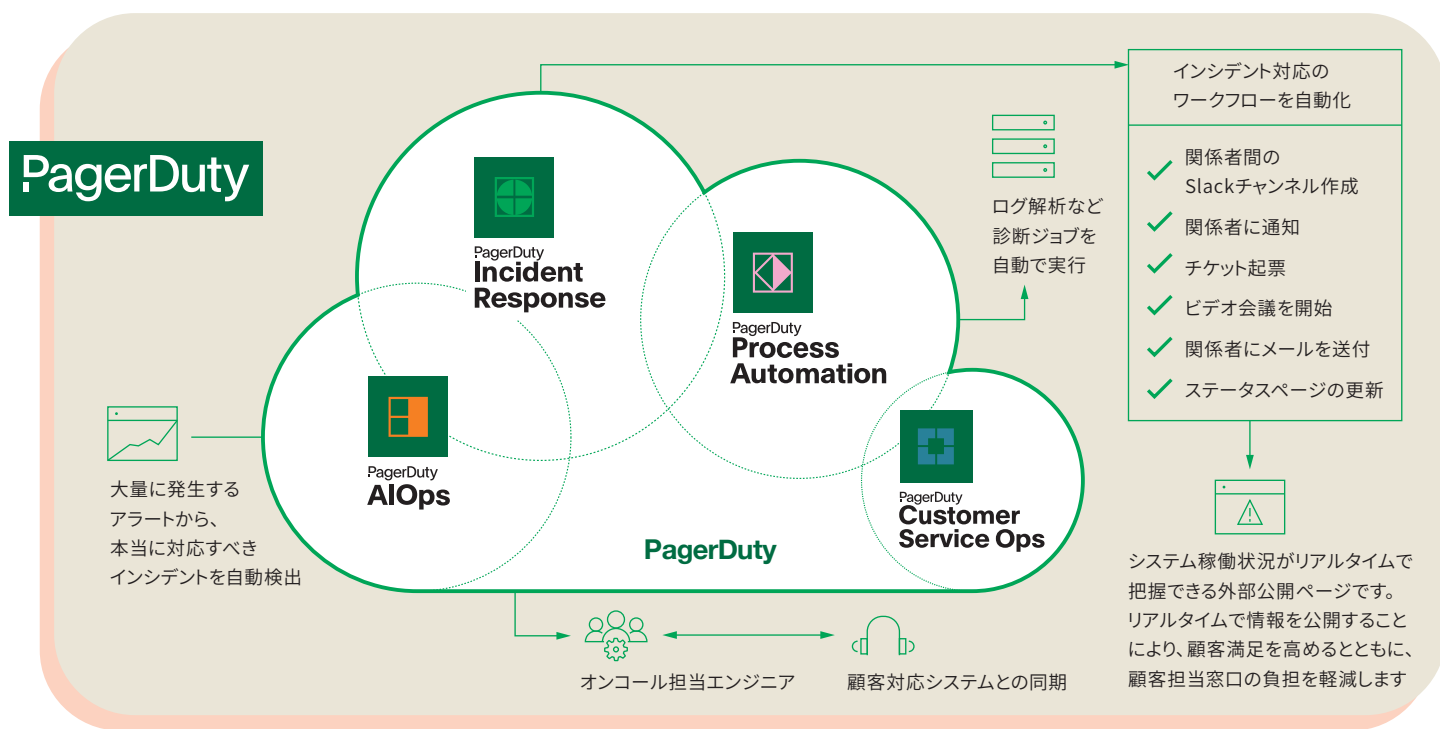


# PagerDutyが実現する オペレーショナル・ レジリエンス

24時間365日、システムが常に稼働していることが期待される今日において、システム障害を迅速に復旧することは喫緊の課題です。PagerDutyは、700以上ものツールと連携。システム障害を自動的に検出・診断するだけでなく、適切な障害対応メンバーをアサインし、デジタル業務全体の修復ワークフローを自動化します。これにより、予期できない、かつ、甚大な影響を及ぼす障害を迅速に解決し、混乱が顧客、従業員、ブランドの評判に及ぼす影響を最小限に抑えます。

- 1 700以上のツールと連携し、緊急で影響の大きい混乱を検知・診断
- 2 適切な障害対応メンバーをアサイン
- 3 自動化された修復ワークフローで迅速に障害を解決



## PagerDuty Incident Response™

インシデントが発生すると、リアルタイムで適切な対応を行います。合理化されたエンドツーエンドのインシデント対応により、システム障害を迅速に解決します。対応プロセスを継続的に改善することで、将来の障害発生を防止します。

## PagerDuty AIOps™ オプション

大量に発生するアラートのコンテキストを分析し、ノイズ除去を除去することで、本当に対応すべきインシデントだけを通知します。アラートへの対応をルール化しておくことで、人の手による対応を減らし、素早く適切な対応を可能にします。過去の類似インシデントや直近の構成変更などの情報を担当者に提示し、解決へ結びつく行動が取れるよう支援します。

## PagerDuty Process Automation™

オプション:システム障害対応に関するさまざまなワークフローを自動化することで、修復にかかる時間を短縮します。複数のステップで分岐処理が必要な複雑なワークフローも自動化することができるため、様々な診断作業を自動実行することで原因特定を支援したり、異常が検知されたサーバーを再起動させることも可能です。

**PagerDuty**

ユーザーボイス  
「月に1万件あったアラート数が10分の1に削減できました。」  
docomo

# PagerDuty機能概要

機能

1

## ノイズを削減する主な機能

- Alert Grouping:** 複数のアラートをグループ化し、1つのインシデント配下にまとめることで、不要な通知を削減。
- Transient Alerts:** 通常は短時間で自動復旧するアラートをAIで検出し、インシデント通知を一時停止する機能。
- Suppress Alerts:** 事前に指定した条件を満たすアラートについて、PagerDuty上でインシデントを作成せず、通知も行わないよう設定可能。

機能

2

## Escalation Policy

通知先を複数のレベルで定義し、自動でエスカレーションを行うことにより、重要なインシデントの見逃し・対応が遅れることを防ぐ。

機能

3

## Related Incidents

他サービスで現在発生している、関連性の高いインシデントを表示。サービス間の依存性データと、リアルタイムの機械学習アルゴリズムにより、インシデントの影響範囲を担当者がひと目で把握できる。

機能

4

## Incident Workflows

PagerDuty上で行う一連のアクションをWorkflowとして定義しておき、実行する機能。インシデントのPriority等の条件を指定しておき、条件を満たした場合に自動実行させることができる。

機能

5

## Process Automation

複数のステップや各ステップの実行結果によって後続の処理を分岐させるような複雑なワークフローのJobの作成・実行が可能。

機能

6

## Analytics

サービス毎のMTTA/MTTR、インシデントの数、インシデント対応に費やした総時間や、各メンバーにインシデント対応の負荷がどの程度かかっているかを可視化

